

■第6回「土砂災害・全国統一防災訓練」開催報告（速報）

毎年、台風や集中豪雨により全国各地で土砂災害が発生しており、昨年も全国で1,128件（四国67件）の土砂災害が発生し、尊い人命が失われました。

6月の土砂災害防止月間行事の一環として、地域住民、市町村、都道府県、国、防災関係機関による「土砂災害・全国統一防災訓練」が6月12日（日）に統一訓練日として全国的に実施されました。

「土砂災害・全国統一防災訓練」は、平成18年から実施し、今年で6回目となります。今年は昨年7月の広島県庄原市や10月に鹿児島県奄美地方等において集中豪雨により数多くの土砂災害が発生したことを踏まえ、昨年に引き続き災害時要援護者関連施設において避難訓練が実施されました。

四国では、当初、徳島県・香川県・愛媛県での実施が予定されていましたが、天候の影響により、徳島県（吉野川市美郷地区、つるぎ町一宇地区）での実施となりました。

実施内容は、地域住民の方々や災害時要援護者関連施設の方々による避難所への避難訓練（自主避難訓練、炊き出し訓練、防災講習会、応急処置訓練等）が行われました。

訓練を通じて、今年の出水期に備えたより一層の避難体制が図られました。

■「四国東南海・南海地震対策戦略会議」開催報告（速報）

平成23年3月11日に発生した東日本大震災を踏まえ、今後発生が予測されている東海・東南海・南海地震等の巨大地震に対し、国・県等の行政機関、学識経験者、経済界等幅広い分野の方々の参加の下、四国が一体となって取り組む「四国防災基本戦略」の策定にむけ「四国東南海・南海地震対策戦略会議」が設置され、第1回会議が6月9日（木）に構成員を含め約130名の出席により開催されました。

会議は、事務局から「素案」が提示され、構成員による意見交換が行われました。主な意見として、「ハザードマップの見直し」、「道路ネットワークの整備・確保」、「四国が重点的に取り組む施策が必要」等意見が出されました。

今後、構成機関と議論を重ね秋頃には「四国防災基本戦略」を策定する予定です。

■海洋環境整備船「みずき」が仙台塩釜港で活動中

平成23年6月1日
(平成23年6月8日回収量更新)

海洋環境整備船「みずき」 仙台塩釜港での作業状況

東日本大震災の影響による海面浮遊ゴミの回収作業を行うため、5月19日に徳島小松島港を出港した四国地方整備局所属の海洋環境整備船「みずき」が、5月21日朝に仙台塩釜港に到着し、海面清掃作業を開始しています。

作業エリアは、宮城県塩竈市から名取市にかけての沖合い10km程度の海域を対象に回収作業を進めています。6月7日までの回収実績は約918m³です。



「回収状況」



「陸揚げ状況」



「回収物」

【主な回収物】

漁網、養殖網、ロープ、ポール、
ブイ、竹類、木片、流木、ボート等

(参考)

◆海洋環境整備船「みずき」の概要

- ・通常は、紀伊水道西部及び播磨灘南部で海面に浮遊するゴミの回収から海難事故等で流出した油の回収、環境調査まで幅広い業務を行っている。

◆所属

- ・四国地方整備局 小松島港湾・空港整備事務所

◆諸元

- ・総トン数 154トン、全長 29.50m、速力 14.65kt

【本施策は、四国圏広域地方計画の「No.6防災力向上プロジェクト」の取組みに関連します。】

<問い合わせ先>

国土交通省 四国地方整備局 小松島港湾・空港整備事務所
TEL:0885-32-3357

(担当) 副 所 長 後 藤
沿岸防災対策官 湯 浅